



企業編

株式会社 平田製作所

国東町小原4291番地

設立：昭和57年11月
従業員：13名



創業者の平田勇一さんは、国東町内にあった七島藪の農機具や藪草を染める機械などを製造する会社に勤めていました。昭和50年代後半、中国産の藪草が輸入されるようになり、自分の技術を活かすために独立を決意。昭和57年に退社して同年11月に農機具を製造する平田鉄工所を設立しました。設立当初は、4畳半の作業場で、主に農機具の部品を製造する下請けの仕事をしていました。しかし、今後の経営を考え新規事業を模索していたところ、ソニー大分株式会社で半導体関係の製造装置の部品製造や保守業務ができる地元業者を探していることを知り、売り込みを行いました。そして、これまで培ってきた農機具部品の成形技術が半導体製造装置の部品に求められる精密な成形に対応できると認められ、昭和62年からソニー大分と取引が始まりました。昭和



63年、会社名を株式会社平田製作所と変更し、国東町上小原地区に、工場を建設しました。その後、ソニー大分との取引で磨いた技術を活かし、多分野の県内企業と取引を広げて行きました。出荷する製品が増えてくると、上小原地区の工場まで大型トラックが入らず、運搬に手間取ることが多くなり、平成9年11月に県道201号線沿いの国東町小原地区に工場を移設しました。それから、県外企業との取引先を開拓することに力を入れ、順調に取引先を増やしていき、今では事業収益の半分を県外企業が占めるようになりました。平田製作所は、「信頼こそが武器」を目標に掲げ、1点ものの特注品や朝届いた設計図から夕方には製品を空輸して相手先に届けるなど短い納期にも対応してきました。今後も、新しい機械や技術を導入しながら、取引先の要望に全て応えられる会社であり続け、いずれは現在使用していない上小原地区の工場を再び稼働させたいと考えています。

第一次産業編

農業生産法人 株式会社 king.field (キングフィールド)

国東町北江3212-3

設立：平成24年4月
従業員：7名



大分市にある池辺電機有限公司は、大分市で電気工事の施工を行っていました。3代目の池邊真二さんは、平成14年頃から電気通信設備工事に入力し、約10年で事業が軌道に乗ったことを期に、母親の故郷の国東市に貢献したいとの思いから農業へ企業参入しようとして大分県に相談に行きました。そこで、通年出荷ができ、大分県が力を入れている「こねぎ栽培」に着目し、株式会社king.field (キングフィールド) を平成24年4月に設立しました。農地は国東市の紹介で国東町北江の尾本地区に確保し、こねぎ栽培用のビニールハウスは、大分県農業農村振興公社のリース事業を活用して整備しました。そして、平成26年6月にビニールハウス22棟、作付面積1ヘクタールで植え付



けを始めました。初年度は、従業員3名で栽培し、約20トンの収穫量でした。そこから、徐々に土壌改良を行って、今では倍の約40トンまで増えています。また、平成27年から商品にならないこねぎを有効活用するため、大分市内に加工場を建設し、ネギのドレッシングやラー油などを開発して通信販売などを行っています。そして、会社設立から5年目の今年度「強い農業づくり交付金事業」を活用して、国見町鬼籠に今までのビニールハウスと同規模の作付面積1ヘクタールを整備します。今後も、5年毎に作付面積を拡張し、農場任せられる人材育成にも力を入れていきます。そして、最終的には、国東市内で4ヘクタールのこねぎ栽培を行うことを目指しています。また、現在は数量や販路の関係で大分市内にあるこねぎ加工場を、ゆくゆくは国東市内に移したいと考えています。そして、地元の方を雇用することはもちろんですが、障がいを持った方が農作業できる機会を提供する農業と福祉を融合させた「農福」を実現したいと考えています。

商工会編

有限会社 酒井商店

安岐町塩屋313-7

創業：昭和28年
従業員：5名



酒井商店は、酒井隆宏さんの祖父故一馬さんが、昭和28年に開業しました。一馬さんは、食料品の卸しもしており、自動三輪車を使用して各食料品店に食料品を運搬していました。そのため、ガソリンも仕入れていたのですが、昭和32年頃にはガソリンスタンドも経営するようになりました。その後、昭和48年以降のオイルショックなどでガソリンスタンドの事業が忙しくなりました。隆宏さんは、後を継ぐために大学で経営について学んでいましたが、父の故郷純生さんが体調を崩したため、平成9年、19歳で帰郷して一緒に働くようになりました。当時は、ガソリンスタンドの規制緩和が始まった時期で、それ以降はガソリンスタンドのセルフ化や異業種の参入などが進



んでいき、価格競争が激しくなりました。これまでどおりの販売量は確保しているものの、厳しい経営の中、平成19年に、純生さんからガソリンスタンドを引き継ぎました。隆宏さんは、車関連のお店の中で、ガソリンスタンドに来るお客さんの数が圧倒的に多いことに着目し、車に関連したサービスを提供することを模索しました。最初は、タイヤの販売から始め、8年前にコーティング技術認定を受けてコーティング専門店を併設。そして、車検や钣金業者と提携したクイックリペアも取り扱うようになりました。その後、中古車販売を行うため古物商の資格を取得し、お客様の希望車種を業者専用の全国のオークション会場で調達しています。落札前に検査員が確認した車の状態を開示するため、品質に信頼があり確実に業績を伸ばしてきています。今後は、高齢者を対象としたサービスの充実を考えています。まず、安全のためのブレーキサポートシステム付自動車を手軽に購入できるようにすること。それから、リサイクル部品業者と提携し、どんなに古い車でも処分費用が出ない仕組みを作り、高齢者の免許返納時の負担を少しでも軽減できるようにしていきたいと考えています。